

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

CRRTにおけるVチャンバ液面上昇管理が回路凝固に与える影響

1. 研究の対象および研究対象期間

2023年4月1日から2026年3月31日までの期間に、昭和医科大学横浜市北部病院において持続緩徐式血液濾過を行なった患者さん

2. 研究目的・方法

当院では、集中治療室で行われる血液浄化治療において、回路内の血液の固まりを防ぐための管理方法について検討しています。

この治療では、体の外に取り出した血液を装置の回路の中に通して浄化を行いますが、回路の一部には血液がたまりやすい場所があり、そこに血液の固まりが生じることがあります。血液の固まりが生じると、予定していた時間まで治療を続けることができなくなることがあります。

当院では、2025年4月から、回路内にある空気を分離する部分の液面の高さを従来より高く保つ管理方法に変更しました。この方法によって血液の固まりが減り、治療を安定して続けられる可能性があると考えています。

本研究では、この管理方法の変更前と変更後の患者さんの診療記録を比較し、回路の中に残った血液の量や、予定した時間まで治療を続けることができたかを調べます。研究は、すでに行われた診療の記録を用いて行い、新たに検査や治療を追加することはありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2029年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

1. 患者さんの基本情報

- ・年齢
- ・性別

- ・ 既往歴
- ・ 集中治療室（ICU）に入室したときの病名
- ・ 血液浄化治療（持続的血液濾過透析：CRRT）を開始した理由
- ・ 血液浄化治療（CRRT）を開始した日

2. 治療に関する情報

- ・ 使用した血液浄化装置の種類
- ・ 使用した回路およびフィルターの種類
- ・ 血液流量（血液の流れる速さ）
- ・ 濾過流量、透析液流量、補液流量（浄化液および補充液の量）
- ・ 透析液温度設定
- ・ 補液加温の有無
- ・ 抗凝固薬（血液が固まらないようにする薬）の使用状況

3. 治療結果に関する情報

- ・ 回路交換時におけるVチャンバ内の残血の程度
- ・ 予定した24時間の治療を継続できたかどうか
- ・ 回路交換理由（予定交換、回路凝固、機械的トラブル、その他）
- ・ 回路圧力各種

4. 検査に関する情報

- ・ 活性化凝固時間（ACT）
- ・ ヘマトクリット値（Ht：血液の濃さを示す検査）
- ・ C反応性タンパク（CRP：炎症の状態を示す検査）
- ・ 血小板数
- ・ フィブリノゲン値

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学横浜市北部病院 北原 大

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院 臨床工学室 氏名：北原 大

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7935